



TOKYO
SYMPHONY
ORCHESTRA

Jonathan Nott, *Music Director*

2015年度(平成27年度) 年次報告書

(2015年4月1日~2016年3月31日)

TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA
Annual Report 2015-2016



公益財団法人 東京交響楽団

Message

ご挨拶



楽団創立70周年をどのように迎えるべきか。「皆様への感謝」「過去の活動の振り返り」「次の飛躍に向けた準備」どれも重要なテーマでありました。更に節目の年として皆様の記憶に残るためにはどうすべきかを考えました。その結果、「更なるお客様の喜びのために当楽団を世界レベルまで飛躍させる活動」こそが、次の80周年に向けて最善であろうとの結論に至りました。この結果実施するのが10月のヨーロッパ・ツアーです。現地での評価を受けることは、参加した楽団員一人ひとりのレベルアップに繋がり、秋以降より一層進化した演奏をお聴きいただけるものと確信しております。

国内では熊本の震災など今年も自然災害で不安な状況が発生しましたが、東京交響楽団は、これまでの70年と同様、これからも音楽の力を信じて演奏を続けてまいります。皆様の一層のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

公益財団法人 東京交響楽団

理事長 澤 田 秀 雄

2015年度活動概要

2シーズン目を迎えたばかりの音楽監督ジョナサン・ノットが、任期を2026年春まで延長するという日本でこれまで前例のない長期契約を結び、当楽団関係者のみならず多くのファンを喜ばせました。演奏会を重ねる毎に当楽団との音楽作りをもっと深めたいという想いを強くしたノットとの長期的な音楽作りの環境が整いました。

2015年度は「トップレベルの舞台芸術創造事業」として文化庁の助成を受けている主催公演、共催公演において、特に充実した内容の演奏をお届けすることができました。文化庁委託事業「戦略的芸術文化創造推進事業」「オーケストラのマーケティング・リサーチと芸術団体のための戦略プラン構築及び実施事業」は2年目を継続し、アンケートやインタビューで得た調査結果を広報や企画、また顧客や寄付者を拡大するための活動に活用し、それを音楽業界に還元するための報告書を作成して報告会を行いました。

定期演奏会

9月の第633回定期演奏会は、「音楽監督ジョナサン・ノットが、マーラーの「交響曲第3番」でまた一つ東響との「最高の演奏」を更新した」（東条碩夫／モーストリークラシック）、「聴衆に深い感銘を与えたとともに、舞台上の楽団員からも大きな達成感を引き出すことに成功していた」（山之内英明／オンステージ新聞）と高く評価されました。同じノットが指揮した「今期最も意欲的なプログラム」（山田治生／音楽の友）と言われた11月定期は、100台のメトロノームが舞台上で時を刻むリゲティ作品から、バッハ、R.シュトラウス（ブルレスケ Pf=エマニュエル・アックス）、ショスタコーヴィチの「生と死」の交差する作品で音宇宙を作り上げたノットの機知に富んだプログラミングと精度の高い演奏で注目されました。3月定期に登場した名匠キタエンコは、ロシア音楽の神髄をショスタコーヴィチ交響曲第5番で表現し、コンサートマスターとして21年にわたり活躍した大谷康子のラストコンサートとして印象に残るものとなりました。

特別演奏会

〈現代音楽のタベシリーズ第18回〉において、早坂文雄の代表作交響的組曲「ユウカラ」、交響的童話「ムクの木の話」などを大友直人の指揮で演奏し、「ムクの木の話」の当時の斬新なアニメーション映像とともに、早坂文雄作品の数々を再認識した演奏会となりました。38回目を迎えた毎年恒例のニューイヤークンサートは、病氣療養中のピアニスト中村紘子の代役としてヴァイオリンの神尾真由子、ピアノのミロスラフ・クルティシエフが登場し新年を祝いました。

青少年育成プログラム、社会貢献事業

「こども定期演奏会」は、バロックから現代作品まで西洋音楽史の流れを聴く4回のコンサートを開催。こども作曲家によるテーマ曲作曲や、こども奏者の参加、こどもレセプションなど独自の企画も行われました。「0歳からのオーケストラ」はミュージアム川崎シンフォニーホール公演が完売となり、子育て支援事業としても注目されています。

フランチャイズ契約を結ぶ川崎の小学校の音楽鑑賞教室をミュージアム川崎で行ったほか、病院、施設などの巡回公演も引き続き行っています。文化庁「文化芸術による子供の育成事業」として、京都市、福井県小浜市、富山県上市町などの小学校の体育館で演奏し、事前のワークショップと併せて子供たちと交流を深めました。

東日本大震災の被災者支援として、継続的に行っているチャリティ演奏会「Concert For Smiles」は今年も4公演開催しました。2011年から合計30公演を数え、楽員による様々なアンサンブルが毎回好評を得て、国際開発救済財団への募金額の総計も350万円になりました。

依頼公演

9月のモーツァルト・マチネ第22回では、交響曲第25番他を演奏し、この演奏がノット音楽監督が10年契約を結びきっかけの一つとなりました。

準フランチャイズ契約を結ぶ新潟市では、りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館において定期演奏会を行いました。サントリーホールでの定期演奏会と同プログラムや独自プログラムを盛り込んだ6公演のうち、3月公演では、にいがた東響コーラスがフォーレのレクイエムを飯森範親の指揮で歌い、地域に定着した定期演奏会となりました。パートナーシップ協定を結んだ八王子市では、ファミリーコンサートやベートーヴェン「第九」の公演をおこないました。

新国立劇場では、「魔笛」「サロメ」「イェヌーフ」のオペラ3作品とバレエ1作品「ラ・シルフィード」の演奏を担当し、特に新演出で新国立劇場初のヤナーチェク作品となった「イェヌーフ」では「本公演の大きな収穫は歌手陣全員の素晴らしいと東京交響楽団からヤナーチェク音楽の最高の本質を引き出した指揮者トーマシュ・ハヌスの音楽創りを堪能できたこと」（平野昭／毎日新聞）「ハヌス指揮する東京交響楽団は、ベルリンのオーケストラよりもはるかに濃厚にヤナーチェクの音楽の持つテンペラメントを紡いで…」（長木誠司／オン・ステージ新聞）と評価されました。

Fiscal Report

財産・運営状況について

正味財産増減計算書の概要

(単位:千円)

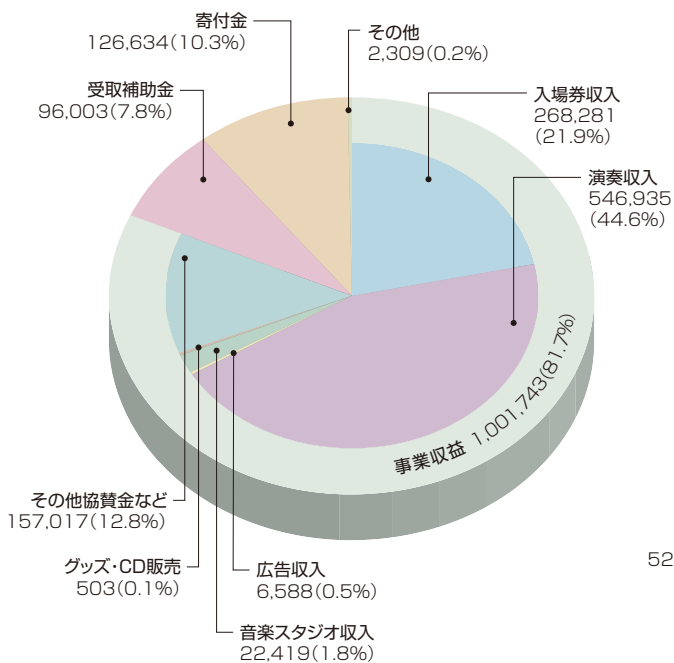
科目	2015年度	2014年度	2013年度
経常収益計	1,226,689	1,303,398	1,290,630
内・事業収益	1,001,743	1,095,191	1,106,368
内・受取補助金	96,003	106,400	103,000
内・寄付金	126,634	98,397	77,665
経常費用計	1,219,712	1,349,709	1,273,575
当期経常増減額	6,977	△46,311	17,054

主催公演、依頼公演共に公演数が減ったため、経常収益は12億円台に留まりました。主催公演は2014年度から3公演減って44公演となったものの、公演毎の入場者は徐々に増え、チケット収入はほぼ同額を保つことができました。しかし、依頼公演数が前年度より14公演減少したため演奏収入は大きく落ち込みました。

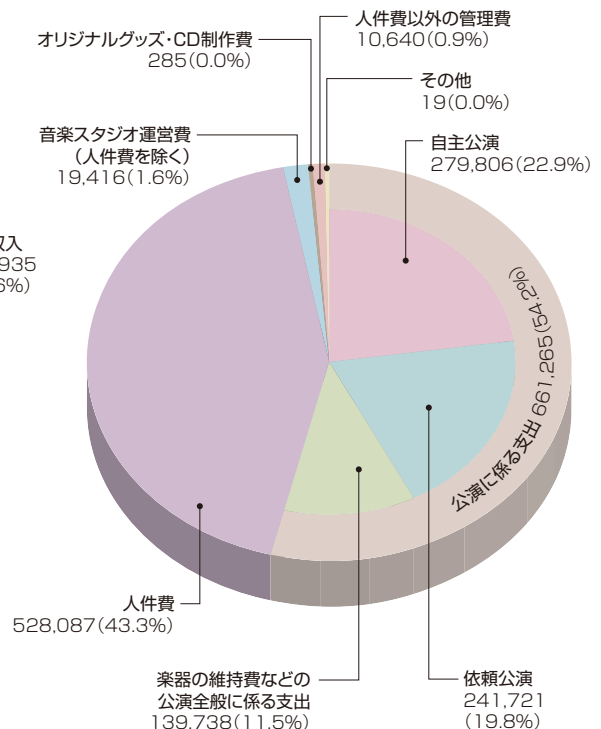
サポート会員の寄付増加に加え、2016年度に控えた創立70周年寄付金も加わり、寄付金総額は1億2千万円を上回り、ノット&東響にご期待いただく皆様からの多くのご支援をいただきました。

2015年度はわずかながら黒字となりましたが、次年度は演奏収入と入場券収入の拡大を課題として、営業に力を注いでまいります。

収入(2015年度) 1,226,689 (単位:千円)



支出(2015年度) 1,219,712 (単位:千円)



Across the 2015/16 Season

演奏記録(全152公演)

● 自主公演 (44回)

定期演奏会 (第629回～第638回)	10回
川崎定期演奏会 (第50回～第54回)	5回
東京オペラシティシリーズ (第85回～第90回)	6回
名曲全集 (第106回～第115回)	10回
こども定期演奏会 (第53回～第56回)	4回
特別演奏会	9回

● 依頼公演 (104回)

新潟定期演奏会 (第89回～第94回)	6回
オペラ・バレエ公演	18回
音楽鑑賞教室・青少年のためのプログラム	32回
その他	48回

● その他の事業 (4回)

録音	4回
----	----



チェスキーナ洋子メモリアルコンサート 2015年8月5日 指揮:ワレリー・ゲルギエフ



2016年度ラインナップ記者発表 2015年9月7日
音楽監督:ジョナサン・ノット



文化庁“文化芸術による子供の育成事業”
三条市立栄中央小学校
2015年6月18日

現代音楽のタベシリーズ第18回〈早坂文雄〉
2015年10月10日





オーケストラで楽しむ映画音楽VI
ミューザ川崎シンフォニーホール
2015年4月12日



キッズプログラム「0歳からのオーケストラ」
2015年4月29日
共演：ズーラシアン・プラス 他



新国立劇場「イエヌーフ」 2016年3月
(撮影：寺司正彦 / 提供：新国立劇場)



NHK横浜FMラジオ「横浜サウンド☆クルーズ」開始
2015年5月～



サポート会員懇親会 2015年11月22日



「こども定期演奏会」
こどもレセプション体験 2015年7月
楽器体験 2015年9月

Tokyo Symphony Orchestra

公益財団法人東京交響楽団 Orchestra

- 音楽監督..... ジョナサン・ノット
- 桂冠指揮者..... 秋山和慶 / ユベール・スダーン
- 正指揮者..... 飯森範親
- 名誉客演指揮者..... 大友直人
- 永久名誉指揮者
..... アルヴァイド・ヤンソンス◆ / 上田仁◆ / 遠山信二◆
- 名誉コンサートマスター..... 大谷康子
- コンサートマスター..... グレブ・ニキティン / 水谷 晃
- アシスタント・コンサートマスター..... 田尻 順 / 廣岡克隆

- | | | | |
|---------|-------|---------------|-------|
| 会 長 | 横川 端 | 評 議 員 長 | 金山 茂人 |
| 理 事 長 | 澤田 秀雄 | 評 議 員 | 梅沢 一彦 |
| 副 理 事 長 | 平澤 創 | | 鷺海 量明 |
| | 依田 巽 | | 片山 泰輔 |
| 専 務 理 事 | 大野 順二 | | 西村 朗 |
| 理 事 | 阿部 武彦 | | 星 久人 |
| | 池辺晋一郎 | | 松木 康夫 |
| | 伊藤 美樹 | | 山下 芳彦 |
| | 大橋 博 | | 山添 茂 |
| | 庄司 薫 | | 横川 竟 |
| | 永山 治 | 特 別 顧 問 | 飯島 延浩 |
| | 南部 靖之 | | 福田 紀彦 |
| | 西室 泰三 | | 山田 長満 |
| | 福川 伸次 | 最 高 顧 問 | 金山 茂人 |
| | 渡邊 秀男 | 顧 問 税 理 士 | 磯村 文靖 |
| 監 事 | 田村慎太郎 | | 田村慎太郎 |
| | 寺西 基之 | 顧 問 公 認 会 計 士 | 松本 博 |
| | | 顧 問 弁 護 士 | 内田 剛弘 |

<p>1st Violins</p> <ul style="list-style-type: none"> ○木村正貴 ○堀内幸子 小川敦子 加藤幸子 小関 郁 立岡百合恵 土屋杏子 中村楓子 吉川万理 大和田ルース <p>2nd Violins</p> <ul style="list-style-type: none"> ○坂井みどり ○清水泰明 ○服部亜矢子 ○加藤まな ○福留史紘 阿部真弓 小川さえ子 河裾あずさ 塩谷しずか 竹田詩織 日野 奏 渡辺裕子 	<p>Violas</p> <ul style="list-style-type: none"> ○青木篤子 ○武生直子 ○西村眞紀 ○山廣みほ 大角 彩 小西応興 鈴木まり奈 永井聖乃 松崎里絵 <p>Cellos</p> <ul style="list-style-type: none"> ○伊藤文嗣 ○西谷牧人 ○川井真由美 ○黄原亮司 ○謝名元 民 大宮理人 樋口泰世 <p>Double Basses</p> <ul style="list-style-type: none"> ○笠原勝二 ○加藤信吾 ○久松ちず 北村一平 安田修平 渡邊淳子 渡辺哲郎 	<p>Flutes</p> <ul style="list-style-type: none"> ○相澤政宏 ○甲藤さち 濱崎麻里子 <p>Flute & Piccolo</p> <ul style="list-style-type: none"> 高野成之 <p>Oboes</p> <ul style="list-style-type: none"> ○荒絵理子 ○荒木奏美 最上峰行 池田 肇 篠崎 隆 <p>Clarinets</p> <ul style="list-style-type: none"> ○エマニュエル・ヌヴェー ○吉野亜希菜 小林利彰 近藤千花子 <p>Bassoons</p> <ul style="list-style-type: none"> ○福井 蔵 ○福士マリ子 坂井由佳 前関祐紀 	<p>Horns</p> <ul style="list-style-type: none"> ○上間善之 ○大野雄太 ○ジョナサン・ハミル 大和田浩明 阪本正彦 鈴木 優 曾根敦子 <p>Trumpets</p> <ul style="list-style-type: none"> ○佐藤友紀 ○澤田真人 大隅雅人 野沢岳史 <p>Trombones</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大馬直人 ○荻野 昇 ○鳥塚心輔 藤井良太 <p>Tuba</p> <ul style="list-style-type: none"> ○渡辺 功 	<p>Timpani & Percussions</p> <ul style="list-style-type: none"> ○奥田昌史 ○新澤義美 武山芳史 網川淳美 <p>Harp</p> <ul style="list-style-type: none"> 景山梨乃 <p>Librarians</p> <ul style="list-style-type: none"> ★武田英昭 前田健一郎 <p>Stage Managers</p> <ul style="list-style-type: none"> ★今村和弘 山本 聡 <p>荣誉団員</p> <ul style="list-style-type: none"> 井伊 準◆ 鷹栖光昭◆ 	<p>楽団長</p> <p>大野順二</p> <p>編成局長&パーソネル・マネージャー</p> <p>藤原 真</p> <p>事務室長</p> <p>辻 敏</p> <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> 池田瀬津子 長久保宏太郎 △尾木貴雄 美濃部敦 □梶川純子 山口翔梧 佐藤雄己 山田道子 高瀬 緑 竹内裕子 △豊山 悟 福田綾子 <p>クラシックスベース★100</p> <ul style="list-style-type: none"> 安藤史子 吉田典正 甲田幹雄 <p>嘱託</p> <ul style="list-style-type: none"> 岩本良彦 水島顯彦 堤 鳴木 <p>□本部長 △部長</p>
--	---	---	--	---	---

◎首席奏者 ○フォアシュピラー ★チーフ ◆故人

(2016年8月1日現在)



TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA

Jonathan Nott, Music Director

1946年、第二次世界大戦によって中断された音楽文化の再建と、新しい舞台音楽の公演を目標に「東京交響楽団」として創立。1951年に「東京交響楽団」に改称し、現在に至る。歴代の指揮者陣には、往年の名指揮者アルヴィド・ヤンソンス、近衛秀麿や上田仁らが名を連ね、外来音楽家が珍しかった1950年代から世界的な演奏家と数多く共演する。指揮者ではマゼール、ヨッフム、フルネ、カザルス、独奏者ではバックハウス、オISTRAフ、ケンプ、ロストロポーヴィチらを迎え、聴衆を魅了してきた。

現代音楽やオペラの初演に定評があり、主な作品には、1940年代から50年代にかけてのショスタコーヴィチ「交響曲第7番～第12番」の日本初演、武満徹「弦楽のためのレクイエム」(1957年、委嘱初演)、シェーンベルクの歌劇「モーゼとアロン」(1994年、邦人初演、演奏会形式)、ラッヘンマンのオペラ「マッチ売りの少女」(2000年、日本初演、演奏会形式)、黛敏郎のオペラ「古事記」(2001年、日本初演、演奏会形式)、アダムズ「エル・ニーニョ」(2003年、日本初演)とオペラ「フラワリングツリー＊花咲く木」(2008年、日本初演、セミ・ステージ形式)、ヘンツェのオペラ「ルプバ」(2007年、日本初演、演奏会形式)、ヤナーチェク・オペラシリーズがある。

これらの活動により、文部大臣賞、音楽之友社賞、京都音楽賞大賞、毎日芸術賞、文化庁芸術作品賞、モービル音楽賞、サントリー音楽賞、中島健蔵音楽賞特別賞、ミュージックバンククラブ音楽賞等、日本の主要な音楽賞の殆どを受賞する。

また、新国立劇場では1997年の開館時から、レギュラーオーケストラのひとつとしてオペラ・バレエ公演を担当している。

2004年より、川崎市のフランチャイズオーケストラとして定期演奏会や特別演奏会、音楽鑑賞教室や市内施設への巡回公演などのコミュニティ活動を積極的に行う。これらの活動が高く評価され、2013年に川崎市文化賞を受賞。新潟市では1999年より準フランチャイズ契約のもと、定期演奏会や「わくわくキッズコンサート」、学校や病院での室内楽演奏を行うほか、東京都八王子市では2013年度より(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団と

提携し、コンサートやアウトリーチ活動を展開している。これら地域に密着した活動の一方で、海外においても53都市71公演を行い、音楽的・社会的に国際交流の実を挙げてきた。

さらに、子どものための演奏会にもいち早く取り組んでおり、中でも「0歳からのオーケストラ」(2007年～)は“次世代への音楽文化の伝承に多大に寄与している”として、2010年にひまわり褒章を受賞。また、サントリーホールとの共催による「こども定期演奏会」(2001年～)は、日本で初めての“子どものための定期演奏会”という、その斬新な発想が多方面から注目されている。

録音においては、TOKYO SYMPHONYレーベル「シューベルト交響曲集(指揮＝ユベール・スターン)」をはじめ、N&Fレーベル「ブルクナー：交響曲第7番、第8番(指揮＝ユベール・スターン)」、キングレコード、EXTONレーベル、日本コロムビア等から多数のCDをリリース。映画やテレビでの演奏も数多く、中でもテレビ朝日「題名のない音楽会」は、1964年の番組開始時よりレギュラー出演している。

また、東日本大震災を機に、2011年5月から楽団員によるチャリティコンサート「Concert For Smiles」を定期的に開催。この基金は(公財)国際開発救援財団を通じて被災地の復興に役立てられている。

2011年4月、内閣府から公益財団法人の認定を受け、2012年度より設けられた文化庁「トップレベルの舞台芸術創造事業〈年間支援〉」では、初年度4オーケストラに選定される。同年9月には、理事長に(株)エイチ・アイ・エス会長の澤田秀雄を迎え、横川端会長、依田巽、平澤創両副理事長での体制に移行した。

2014年度シーズンより、ジョナサン・ノットが第3代音楽監督に就任。正指揮者に飯森範親、桂冠指揮者に秋山和慶、ユベール・スターン、名誉客演指揮者に大友直人を擁している。2016年には創立70周年を迎え、同年10月ウィーン楽友協会を含むヨーロッパ5カ国での公演を予定している。

HP <http://tokyosymphony.jp>

～皆様からのご支援お待ちしております～

東京交響楽団の活動は個人・法人の皆様から寄せられるあたたかいご寄付とともに成り立っています。財政状況や定款、税制上の優遇措置についてはウェブ上でもご覧いただけます。

ご質問等ございましたら東京交響楽団川崎オフィス支援開拓本部までお問い合わせください。

公益財団法人 東京交響楽団

Tel:044-520-1518 <http://tokyosymphony.jp>

本部 〒169-0073 東京都新宿区百人町2-23-5

川崎オフィス 〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5階

2016年7月10日発行